

メッセージアウトライン

ルカ 2 : 1 ~ 20 「世に来られた救い主」

ヨハネの福音書

「初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。この方は、初めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもなかった。この方にはいのちがあった。このいのちは人の光であった」(1~4)

「すべての人を照らすそのまことの光が、世に来ようとしていた。この方はもともと世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。この方はご自分のところに来られたのに、ご自分の民はこの方を受け入れなかった。しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとなる特権をお与えになった」(9-12)

「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた」(14)

ルカの福音書

[1-3] 「そのころ、全世界の住民登録をせよという勅令が、皇帝アウグストから出た。これは、キリニウスがシリアの総督であったときの最初の住民登録であった。人々はみな、登録のために、それぞれ自分の町に帰って行った」

①ローマ皇帝アウグストによる住民登録の勅令(1)

「アウグスト」BC 31~AD 14 年在位 その生涯は BC 63~AD 14 年 アウグストは当時の世界の征服者となったユリウス・カエサル（シーザー）の兄弟の孫にあたる。彼が初めて公にローマ皇帝に「カイザル」という称号を用いるようになった。この勅令はローマ帝国の各地の人口を調べて税金をかけたり、徴兵をするためのものであった。

②キリニウスがシリアの総督であった時の最初の住民登録(2)

住民登録はそれぞれ先祖の出身の町で行われた。

キリニウスの最初の任期 BC 7~BC 2 年、2 回目の任期 AD 6~AD 9 年

③ヘロデ大王の治世にキリストはお生まれになった。→マタイ 2:1

ヘロデ大王の没年は BC 4 年

これらを基に計算していくと BC 4~5 年がイエス・キリストの誕生の時となる。

西暦ではイエスの誕生をもとに BC (Before Christ キリスト以前)と AD(Anno Domini 主の年[ラテン語])と紀元が分かれるが、実際はそれより 4~5 年前がイエス誕生の時であったことがわかる。

ローマ帝国が当時の世界を支配し、安全が保たれ、「すべての道がローマに続く」と言われ、交通網が整備された時代に、神はご自分の計画を実行に移されたのである。

[4-7]「ヨセフも、ダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。身重になっていた、いいなずけの妻マリアとともに登録するためであった。ところが、彼らがそこにいる間に、マリアは月が満ちて、男子の初子を産んだ。そして、その子を布にくるんで、飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである」

この箇所を読むと、人口調査のため、どの宿も満員で、それでもようやく彼らが泊まることのできた家畜小屋で男の子が生まれたという以外、特に変わったことはないように思える。

しかし、そこに非常に特別なことがあった。それはヨセフとマリアはまだ夫婦としての関係を持っておらず、マリアの胎に宿っていた子は聖霊によるものだということである。マリアはルカ 1：26 節以下で御使いガブリエルが彼女に現れて、彼女が聖霊によって身ごもり、生まれる男の子をイエスと名づけるようにと教えていた。夫のヨセフもマタイ 1：18 節以下で、夢の中に御使いが現れて、マリアの胎に宿っているものは聖霊によるということ、彼女は男の子を産む。その名をイエスとつけること。この方がご自分の民をその罪からお救いになると告げていた。

マリアとヨセフは信仰によって御使いの語ったことを受け入れ、ヨセフはマリアをそのまま妻として迎え入れたのであった。このヨセフはあの有名なダビデ王の子孫であったが、今はガリラヤのナザレという田舎町で大工をしている身であり、マリアも同じナザレの町のごく普通の女性であった。

もし彼らが御使いの告げたことばに従わなかったならば、神は別の男女を見つけなければならならなかっただろう。しかし、彼らは将来受けるであろう非難や中傷を予想しつつもあえて信仰をもって神のことばに従ったのであり、このことによって神の救いのご計画は実現していくこととなる。そして、今、ヨセフは身重となっているマリアを連れて住民登録のために先祖ダビデの町ベツレヘムに来ている。もしこの住民登録がなかったなら彼らはそのままガリラヤのナザレにい

たことだろう。この住民登録のための移動も神のご計画のうちにあったのである。

ここにおいて旧約の預言が成就している。

- ①人類の始祖アダムが罪を犯した直後の原福音の成就 ……創世記 3:15
- ②ダビデの子孫として生まれる……Ⅱサムエル 7:12~13,16
- ③ユダヤのベツレヘムで生まれる……ミカ 5:2
- ④処女より生まれる……イザヤ 7:14→マタイ 1:20~23
- ⑤やみの中を歩んでいた民は大きな光を見た…イザヤ 9:2→マタイ 4:12~17,ルカ 1:79

[8-20]「さて、この土地に、羊飼いたちが、野宿で夜番をしながら羊の群れを見守っていた。すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光が回りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。御使いは彼らに言った。『恐れることはありません。見なさい。私は、この民全体に与えられる、大きな喜びを告げ知らせます。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。あなたがたは、布にくるまって飼葉桶に寝ているみどりごを見つけます。それが、あなたがたのためのしるしです。』すると、突然、その御使いと一緒におびただしい数の天の軍勢が現れて、神を賛美した。『いと高き所で、栄光が神にあるように。地の上で平和が、みこころにかなう人々にあるように。』御使いたちが彼らから離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは互いに話し合った。『さあ、ベツレヘムまで行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見届けて来よう。』そして急いで行って、マリアとヨセフと、飼葉桶に寝ているみどりごを探し当てた。それを目にして羊飼いたちは、この幼子について自分たちに告げられたことを知らせた。聞いた人たちはみな、羊飼いたちが話したことに驚いた。しかしマリアは、これらのことをすべて心に納めて、思いを巡らしていた。羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて御使いの話のとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った」

身分の高い人々や裕福な人々、権力のある人々などではなく、当時の羊飼いのような社会の最底辺の見捨てられているような人々に一番最初に救い主誕生のすばらしい喜びの知らせが告げられた。これが神のみこころであった。羊飼いたちは多くの天の軍勢が現れて神を賛美するすばらしい光景を見た。彼らは救い主誕生という喜びの知らせを聞いて、夜中であるのに捜しに行った。そして、ついにマリアとヨセフと飼葉桶に寝ておられるみどりごとを捜し当て

た。彼らは単に聞くだけで終わらせるようなことはしなかった。後にヘロデ王や王に仕える学者や祭司もこの救い主誕生の知らせを聞くことになるが、学者たちは行かず、ヘロデに至ってはこの救い主を殺そうと計った。

→マタイ 2 章　これが神に逆らうこの世のやり方である。

この世は歓迎しなかったけれども、確かに神はこの世を愛し、罪の暗闇の中に座り込んでいる者たちを救うために御子イエスを送ってくださった。このイエスはユダヤだけでなく、全世界の救い主である。そして彼は私たちの罪の贖いのために十字架への道を進まれるのである。私たちもこのすばらしい救い主イエスを送ってくださった主なる神を羊飼いたちとともに喜び賛美し、感謝しよう。→ I コリント 1 : 26~29